

2023.10.01.なぜ祈りが人生を変えるのか

第一ヨハネ 5 章 14 節 15 節

JD ファラグ牧師

アーメン、アーメン。一緒に祈りませんか？ 主よ、おお。主よ、ありがとうございます。この時間を感謝します。私たちにいのちを与えられる御言葉に大変感謝します。御言葉は生きているからです。主よ、今朝、私たちには理解が必要です。ですから、どうか、聖霊よ、主よ、 私たちに必要な理解を与えてくださいますか？ 主よ、私たちを強めてくださいますか？ 私たちを導いてくださいますか？ 主よ、今日、私たちを愛してくださいますか？ イエスの御名によって、アーメン。

アーメン、アーメン。おはようございます。ようこそ。ご着席ください。来てくださりとても嬉しいです。オンラインの皆さんも参加くださり嬉しいです。見て下さって、祝福されると信じます。始める前に、いくつかお知らせしたいことがあります。今週火曜日、午後7時、ここ礼拝堂で祈り会があります。是非いらっしゃって、一緒に祈りましょう。また、いくつか悲しい知らせがあります。ローリー・アレンについてです。ペリーから昨日の朝、受け取ったテキストメッセージ、そして、スティーブ・サントス牧師の文章の一部を皆さんに分ち合います。ペリーから連絡がありました。

『私の最愛の美しい勇敢な妻は、29日金曜日、午後3時20分主のもとへ旅立ちました。彼女がいなくてどれほど寂しいか、言葉では言い表せません。』スティーブからは事前に私へメールが来ていて、彼女はとても安らかに、家族に囲まれて旅立ったそうです。

「ローリーの心と生きる意志は、ペリーと一緒にいるため生き続けようと強く戦っていました。しかし彼女の体は、その負傷と多くの手術から、大変弱っていき、生命維持に重要な臓器が停止を引き起こしました。私たちは皆、彼女を愛し、ペリーのためにずっと祈ってきました。私たちは皆、心を痛めています。私はイエス、私たちの苦しみを慰めて下さるイエスに心から感謝します。特に、イエスが今ペリーや家族と一緒におられ、これを読んでいる間も、イエスは生きておられ、このような時、イエスが私たちの生きている唯一の望みです。イエスは、私たちに約束されているすべてで、良いお方です。ペリーから、みんなに知らせてくれと頼まれました。今は彼に電話をしないでください。彼はとても感謝をしています。でも、大変多忙で、彼はこの7週間ローリーと過ごせ、彼女に会って話をし、最後の数日、数時間を慈しみながら一緒にいられたことを神に大変感謝しています。ペリーの方から連絡が来るでしょうから。これから数日間、彼らを祈りの中に覚え、イエスと共に歩むペリーのため祈って下さい。でもローリーはもういません。J.D. 大好きだよ。スティーブより。」

ペリーとローリーの物語が終わったとは感じていません。これにはいくつか理由があって、そのおもなものが、(彼女について)すでに全国ニュースとなっています。以前、話した通り、改めて心から思うのは、これは悪の謀らいです。

しかし、神は。こんにち多くの人の救いのため良いことになさいます。(創世記 50:20 参照)

とはいえ、どうかペリーとご家族、マウイの人々のため祈ってください。まだ知られていないこと、あるいはあまり知られていないことがあって、ローリーは、実際、年老いた家主を助けようと、再び炎の中に戻って行きました。その後、炎に巻き込まれ、彼女の体は、73%以上の火傷を負いました。神が最終章をご用意されているのはこれについてが書かれているからだと思います。ですから、再度、どうか祈ってください。「第一ヨハネの手紙 5 章」、今日の箇所は2節で、14節と15節です。「第一ヨハネの手紙 5 章」、今日の箇所は2節で、14節と15節です。可能であれば、ご起立いただき、ご無理なら、座っ

たままでも結構です。私が朗読するのについてきてください。この 2 節だけを選んだ理由がまもなくわかるでしょう。使徒ヨハネは、聖霊に導かれ、こう書いています。

ー 1ヨハネ 5：14 ー

何事でも神のみこころにしたがって願うなら、神は聞いてくださるといこと、これこそ神に対して私たちが抱いている確信です。

ー 1ヨハネ 5：15 ー

私たちが願うことは何でも神が聞いてくださると分かるなら、私たちは、神に願い求めたことをすでに手にしていると分かります。

祈りましょう。お父様、御言葉を本当にありがとうございます。主よ、この御言葉、あなたの御言葉のこの箇所を。主よ、私はずっと楽しみにして来ました。あなたは私の心をご存知で、とりわけ、この 2 節に対してです。私がこの箇所を楽しみにしているのは、事前に知っているからで、私たちの時間の中でこの 2 節に取り組めることを先立って感謝します。ここには、私たちにとって励まされることがたくさんあります。特に、祈りに関して。ですから、主よ、私たちはただ、あなたの御言葉によって共に過ごす時間を、あなたに捧げます。聖霊の静かな小さな御声で、あなたにしかおできにならないようにお語りください。私たちの人生にお語りください。大変傷ついている人たちがたくさんいて、ただあなたの愛の御手によって触れられ、私たちの慰め主、聖霊による慰めが必要です。ですから、主よ、慰め励ましてくださいますか？ イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。ご着席ください。ありがとうございます。今日の祈りについての教えの前置きですが、私は決して単なる祈りについての説教をしたいわけではありません。「なぜ祈りが人生を変えるのか」というタイトルが、祈りについての単なる説教のように聞こえるのは重々承知です。何も間違っていないんですが、でも、この説教は違います。実際は、祈りへの私たちのアプローチと祈りに対する見方についての説教以上で、祈りが変わる時、私たちの人生を変えます。これには 4 つの理由があり、その 1 つ目が 14 節の前半です。「私たちは神へのアプローチによって、確信/自信（キーワード）を持てる。」

2 つ目は、14 節の後半、「神の御心にしたがうことで何でも手に入れることができる。」

3 つ目は、15 節の前半で、「私たちが願うことは何でも神が聞いてくださると分かる。」

4 つ目、15 節の後半で、「私たちは、神に祈り求めるものは何でも神から与えられるのが分かる。」

もうここで締めくくりましょうか。いえ、締めくくりませんよ。この 14 節の前半にある「神に近づくことによって確信/自信を持つ」について取り組みましょう。ヨハネは、愛称する「聖なる大胆さ」を私たちが持てる理由を説明し出します。もしくは、言わば、「聖なる確信/自信」、傲慢ではなく、神に近づくことへの確信/自信。これもまた当然のことのしっかり把握でしょうけど、しかし、私の話を聞いていただけなら、実は、告白という方法によって分かち合いたいのです。私たちの祈りへのアプローチについてのこの人生を変える真理は、私にとっては個人的に長年、大変困難で深い後悔があります。ご辛抱ください。理由は、長年、私が若い信者の頃、わからなかったことは、これから話す聖なる力と聖なる大胆さを持って、恵みの御座に近づけるということでした。実際、私の祈りの生活は、言い方はマズいですが、恥ずかしがり屋で、内気で、言わば、臆病な羊のようで、こんな感じで、、、「主よ、、、」私は自分の祈りを詫びました。やめようか、、、祈ろうか、、、やめようか、、、祈ろうか、、、うん。 それどう？

「主よ、あなたがお忙しいのはわかっています。申し訳ございませんが、、、」 そんな感じでした。ちょっと待ってください。「私はこの確信/自信を持てるんだ。私は祈りによって神に近づき確信/自信を持て

るんだ。私は神に何でも頼めるんだ。」それについても話します。でも、そう、敵は私たちをこれで捕えましたね？ どういう意味ですか？ おお、そう、敵は祈りが決め手だと知っています。敵がクリスチャンを祈りから遠ざけられるなら、敵は勝ちます。戦いに例えた最高の描写が気に入っていて、2人の対戦相手、素手の戦い、一方がナイフを振りかざせば、すべてが変わります。でしょ？ 今、突然、ナイフを持たない方の焦点はすべて、ナイフを持つ方にナイフを手から離させることです。ですね？ 何が言いたいかわかりますか？ ナイフが祈りです。

御霊の剣は神の御言葉です。(エペソ6：17参照)

サタンはその祈りがサタンの敗北の決定要因になるのを知っています。サタンは敗北した敵です。これが理由で、ちなみに、祈り始めるときはいつも、全ての地獄(最悪)/HELL Hと Eと LL/ホッケースティック2本ホッケースティックは使ったことがないけど、爪楊枝は使ったことがあります。でも、今日はホッケースティックを使いましょう。すべて 地獄(最悪)/HELLHと Eと LL/ホッケースティック2本 が急に起こり始めます。電話がかかり、決まって間違い電話。子どもが喧嘩。何かが起こる。何がどうなってる？ おお、頼みますよ。何が起きているかわかりますね？ 敵はあなたの祈りを妨げようとしています。敵はあなたが祈った時点で、終わりだと知っているからです。それが理由です。敵は、クリスチャンが祈りに臆病になるよう仕向けるのに大成功しました。「たぶん、そのことについては私なら祈らないだろうね。私なら、神にそれを求めないだろうね。実際のところ、私ならまったく祈らないね。君は今日、本当に忙しかっただろ。忙し過ぎて祈れないさ。」

私は大變的確なことを聞きました。：「あなたは忙し過ぎて、祈れないのではない。」ところで、真理ではないですか、、これが確信/罪の示しだとわかるのは、私が罪を示されるからです。ですから、皆さんにも、罪が示されてほしいです。私たちって、優先順位をつけ、優先順位が高いと判断したことに時間を割きませんか？ つまり、あなたは、「忙し過ぎて祈れないのですか？ 祈る時間がないのですか？ おお、でも、あのことには、時間はあるようですね。」私の言う意味がわかるでしょう。私同様、あなたにも罪を示したいのです。あなたには、このための時間はある。そのための時間はある。このための時間はある。でも、おお、祈る時間はない。あなたの道具箱の中で最も強力な道具、それ(強力な道具/祈り)が埃をかぶっている。理由は？ サタンは、あなたがその道具(祈り)を道具箱から取り出して欲しくないのは、それが決め手となるからです。祈りとなると、サタンは、私たちを臆病に、恥ずかしがり屋に、内気に、\_\_\_\_、\_\_\_\_ししようとします。どんな言葉でもいいので、空欄を埋めてください。何をサタンが最も恐れているかご存知ですか？ サタンは、神の御言葉を信じる大胆なクリスチャンを恐れます。この話を聞いたことがありますか？ 良い、大變良い内容です。ミームやそういうのがあるのは知っていますが、こんな感じです。：朝、目が覚めて起き上がると、悪魔が「あら～、おっお～、起きたのね。」と言うような人間になりたい。－(笑)－ 聖化された「よ～し！」というような込み上がる感じではないですか？ それが祈りです。敵は、私やあなたが敵に対して思う以上に、あなたを恐れています。敵が最も恐れるのは、祈るクリスチャンです。ですから、サタンがクリスチャンを祈りから遠ざけようとするのは当然ではありませんか？ また、こう理由が立ちませんか？ サタンがクリスチャンを祈りから遠ざける方法は、クリスチャンが祈りで神に近づくのを臆病にさせること。よって、サタンは勝ちます。感謝なことに、私が恵みのうちに成長し、キリストにあって成熟するにつれ、私の祈りの生活も成熟し、私はますます確信/自信を深めました。実際、私は確信/自信の限界に、少し、いや少しではなく、かなり挑んだと言えるかもしれません。しかし、それがまさに聖書を通して神が語られていることです。「ヘブル人へ

の手紙」4章16節でそれを見ることにしましょう。この箇所は有名で、多くの方がご存知で、私たちは「ヘブル人への手紙」を一節ずつ学びました。しかし、この特別な節を、私がこの箇所を読むので聞いてください。いいですか？

#### ー ヘブル 4：16 ー

**ですから私たちは、あわれみを受け、また恵みをいただいて、折にかなった助けを受けるために、大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか。**

つまり、私たちは臆することなく、大胆に恵みの御座に近づく。私たちはその方法で神に近づくことができます。神は私たちに招いておられます。あの幕は裂けましたよ。(マルコ 15:38 参照)

では、こう考えてみてください。これは、このような、、、これが私にとって、言わば決定打です。ここに私がいて、助けが必要です。できる限りの助けが必要です。私は自由にアクセスできます。確信/自信をもって、大胆に、恵みの御座にアクセス、、、私は皆さんの幾人かにそのようなアクセスはできません。あなたは留守録ですから。しかし、私はいつでも神に近づけます。どんなことにでも、どこにいても、私はアクセスできるのに、それを活用しないのか？ 私はそれを使わないのか？ここで、私は不必要に、助け、恵み、慈悲を必要としている。私が必要な時に。ここに神がおられ、、、見ておられ、「なぜわたしのところに来ないのか？」「いいえ、彼らや、彼や、彼女に電話します。」「なぜわたしに電話しないの？」「いいえ、私は彼らに聞きます。」「なぜわたしに聞かないの？」「え～、いや、OK、、、」それで、羊のように私たちは近づき、「あの～神様、、、」

「いや、確信/自信を持って近づきなさい。わたしの御座に近づきなさい。(ヘブル4：16 参照)

あなたが必要なものはすべて準備万端でここに用意してあります。あなたはわたしのところに来ないの？ ここでわたしは御座に座していて、わたしの裾は栄光で神殿に満ちている。(イザヤ6：1 参照) イザヤが語る通り。

わたしがその神です。天と地と海とそれらの中のすべてのものを造りました。)(出エジプト20：11前半参照)

先週の、ヨハネが言ったように、、、失礼しました。ヨハネではなく、ダビデです。大変な1週間でしたから。(言い間違えました)「詩篇 121 篇」、「私の助けは どこから来るのか。」助けが必要なとき、どこに助けを求めに行けばいいのか？ 私は山に丘に向かって目を上げるのか？ 違います。

#### ー 詩篇 121 篇 2 節 ー

**私の助けは主から来る。天地を造られたお方から。**

ダビデがそれを加えてくれて本当に嬉しいです。言い換えると、皆さんは私が困っているときに助けてくれるかもしれませんが、私は天と地を創造された神へ自由にアクセスでき、準備万端で待っておられます。で、私は確信/自信をもって主の恵みの御座に近づき、主に求めないのか？ これは私が予想していたよりもずっと確信/罪の示しがあります。

2 目、順調に進みます。14 節の後半、継続性を見ていただきたいのです。より良い言葉が見つかりませんが、、、今、ヨハネは御座に近づくことによって私たちの確信/自信を確立し、私たちは確信でき、ここで私たちは神に近づくことによって確信/自信を持てます。その確信/自信とは何か？ おお、何でも手に入れられる確信/自信を持てます。何でも？ はい、「神の御心にしたがって。」言い換えると、ヨハネが説明するのは、神に近づくことによって、確信/自信を持てる理由は、神の御心にしたがって、祈ることだと語ります。もう一度、言わせてください。私たちは、神の御心にしたがって何でも求めることができ

きるという確信/自信を持てるだけではなく、同時に、神によって、祈りが聞かれるのを確信できます。ヨハネは次の15節の前半で、これを説明しています。しかしながら、ここで強調したい言葉は、「もしも/if」です。実際、数えると、14節と15節で2つの「もしも/if」があります。「もしも/if」私たちはこのように言います。：それは大きな「もしも/if」です。大きな「もしも/if」です。そう、それは自動ではなく、そうではなく、、、ところで、これで一件落着で、この異議申し立てのファイルは閉じられるはずで、その申し立ては、祈らない言い訳としてしばしば持ち出されます。

「いずれにせよ、神は神がなさることをなさる。なぜ私が求める必要があるのか？」うう～、、、ですから、私たちは「もしも/if」について話さねばなりません。なぜなら、これは大きな「もしも/if」だからです。「もしも/if」私たちが求めたら。「もしも/if」確信/自信が持てたら。「もしも/if」恵みの御座に近づいたら。それは、大きな「もしも/if」です。実に「ヤコブの手紙 4章」2節の後半ですこの節をよくご存知ですね。おそらく暗記しているでしょう。

「自分のものにならないのは、あなたがたが求めないからです。」(ヤコブ4：2後半)  
答えられない祈りは、求めている祈りです。「はい、ちょっと待って。なぜ神に求める必要があるのか？神はすでに知っておられる。」おお、そう、あなたは肝心なことを見逃しています。OK。皆さんではないです。ごめんなさい。私たちは肝心なことを見逃しています。この方がいいですか？ そう、神は私たちに求められたいのです。つまり、よく考えてみてください。自動だったら、どんなものでしょう？

「神はすでにご存知で、私は求める必要はない。」とか、「そう、うん、JDはこれが必要だ。降りて行って、JDに与えなさい。JDが求める必要はない。与えればいいから。」比較すると、、、— このことがわかります— もっといい例があれば教えてください。しかし、これと比較すると：「いえ、私には必要なものがあります。私は大胆に聖化された確信/自信と共に、確信/自信をもって恵みの御座に近づき、神に求め、そして、神は私に与えられるでしょう。神は私の祈りを聞かれ、私が求めるものは何でも、御心にしたがって与えてくださるからです。だから、それは紛れもなく神です。」

もしも、それが自動なら、私たちは、、、「そっか。」しかし、私たちが求め、そして私たちが求めたものを手にするとき、私たちは理由がわかり、求めたものを与えて下さったのが誰なのかわかります。以前にも言いましたが、再度、言います。私が言うことに飽き飽きしないことを願います。私はずっと言い続けているからです。私たちの祈りは小さ過ぎると思います。もしも私たちが祈るなら、「もしも/if」本当に祈るなら。

いつも私が福音書を読むと、聖句の中でイエスは次のように仰います。「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか？」(マタイ14：31)

その御声に軽蔑や嫌悪があるとは決して想像できません。私はある種の困惑とともにこんな感じだと想像します。：「なぜあなたの信仰はそんなに小さいのですか？ あなたの神は大変大きいのに。なぜあなたの確信/自信はそんなに小さいのですか？ あなたの求めるものはなぜそんなに小さいのですか？ あなたの神は大変大きいのに。実際、なぜあなたはわたしに求めさえないのですか？ あなたが求めるだけで、それを手にすることができるのに。」「私は手に入れていません。」「あなたは求めましたか？」

「いいえ。」それが理由です。あなたが手に入れていないのは、あなたが求めないからです。では、これは15節の前半にある3つ目と見事に結びつきます。これは祈らない言い訳に使われるもう1つの反論からです。：「神は私の祈りを聞かれるような気がしません。私の祈りは天井から跳ね返されるようです。」それとも、これはどうです？ これは現実で、生々しいかもしれませんが、現実です。「祈れば祈るほど

悪くなるような気がします。ですから、私は祈るのをやめます。」その点も、私は誰とも目を合わせません。自分自身を見えています。そうは言いませんけど、でも、誰もがそう思ったことがあると思います。何かについて祈り始めて、あなたは思います。「OK。神は私の祈りを聞かれ、私の叫びの声に耳を傾けてくださる。」あなたが祈れば祈るほど、このことはどんどん悪くなっていき、どんどん悪くなり、あなたはますます祈ります。ちょっと待って、「何かパターンがあるのでは？」と考えます。「祈るほど悪くなる。何か違うことを試してみよう。」神においての逆心理学みたいに、それがうまくいく様に考え、「私が祈るのをやめたらどうだろう？良くなり始めるかもしれない。」と。違います。ヨハネが語ります。

「私たちが何を求めても、それを神は聞かれるとわかる。」神は私たちの祈りを絶対に聞いてくださいます。神はまた私たちの祈りに答えてくださいます。神は必ずしも私たちが望むような方法や、状態、特に私たちが望む時に、答えられるとは限りません。私たちは常に今すぐそれを求めるからです。ここまでのところよろしいですか？ OK。良いですね。私同様、皆さんがまだ罪を示されていると確認したくて。さて、私の役目は皆さんの注意を引くことで、ここでヨハネが書いているのは、「私たちが求めることは何でも神は聞かれる」です。ここに理由があります。再度、もしも、私たちが神に近づくことによって確信/自信を持ち、もしもそれが神の御心にしがっているなら、私たちが願うことは何でも神が聞いてくださるとわかります。(1ヨハネ 5：15)

「求めることは何でも？」はい。言い換えると、もしも私がこのことを知っているなら、もしも私がこのことに確信/自信を持っているなら、なぜ大胆に神の御座に近づこうとしないのか？ 私が求めることは何でも神は聞かれると知っているのに。神は耳が遠いわけではありません。

主の手が短くて救えないのではない。その耳が遠くて聞こえないのではない。(イザヤ 59：1)

いいえ、主は聞いておられます。ところで、これは驚きかもしれませんが、神はあなたが祈る前に、あなたが何を祈ろうとしているのかご存知です。わかります。衝撃でしょ？それは神が全知全能であられることと関係があります。全知全能で、初めから終わりをご存知です。実際、神はあなたが必要とするものを、あなたが必要と知る前からご存知でした。実際、私はさらに一步踏み込んで、こう提案します。あなたが神のもとに来て、神がその必要を満たされるよう実際 神が、その必要を許されたのです。そう考えたことはありますか？神はそのように慈悲深くあられます。アダムについて考えます。これは興味深いです。お付き合いください。ちなみに、これは追加料金なしですからね。そう、神はアダムにつがいの動物に名をつけさせましたね？(創世記 2：19 参照)

アダムについて不思議なのは、これは(罪が入る)墮落前ですよ。一体どうやって、「キリン」とか思いついたのか？わお、アダムさん、本当に創造的。神は、アダムにつがいの生き物に名をつけさせました。神がそうされたのはなぜか？アダムがその必要を知る前に、神はアダムにその必要を示されています。アダムには何が必要なのか？おお、「人がひとりであるのは良くない。」(創世記 2：18)

ですから、アダムが動物に名をつけている時、「あれ？これはどういうこと？動物全部に相手がいる。全部に連れ合いがいる。全部、、つがいだ。」(僕には？？?) — (笑) — 神は「OK。準備はいいかな？」はい。昼寝をさせてあげよう。(創世記 2：21 参照) — (笑) — 牧師さん、ポイントは何ですか？私が言いたいのは、神は私たちに何が必要かを、私たちが何を必要とするかを知る前にご存知です。神は私たちが必要とすることだけを与えられるのではなく、私たちが必要とすること、求めることは何でも。そもそも、神がその必要を生み出されたのかもしれませんが。あなたがその必要を満たすために神のもとに来るように、その必要を許されました。なんてカッコいいんでしょう？私が必要とするものは何で

も。つまり、地上の親について考えてみてください。私はいつもこれが好きで、私の定番です。とりわけ、このような箇所、私たちの天の御父、「父親」と向かい合うことです。これがまた私にとっての葛藤でした。私の祈りの生活にも波及しました。私は地上の父と良い関係ではなかったからです。私はいつも、地上の父とのあまり良くない関係のレンズを通して天の御父を見ていました。それが私の確信/自信を持って、神のもとに行かなかった理由です。私は父、つまり地上の父のもとには決して行かなかったからです。私は父に近づきませんでした。確信/自信を持ってだっけ？ ええ、私はそう思いません。はい、私は本当に興味がなく、、、とにかく、あまり逸れ過ぎたくありません。今のは、よくありませんでした。よくなかった。父はいつも私に怒っていました。父が私に腹を立てる十分な理由があったのは確かです。しかし、父が私に怒らなかった記憶はほとんどありません。ですから、父とは距離を置きました。私は決して父に近づかず、決して求めませんでした。私はいつも母のところに行きました。グルッと回って。子どもってそうしますね？ 子どもは両方に行きます。私は母にだけ行きました。私の母は、「ハビビ、あなたのほしいもの、求めるものは何でも。」— (笑) — それは私が天の御父と向き合わねばならないことでした。さて、これを地上の墮落した父、母、親として考えてみてください。イエスは、このたとえ話を教えられるとき、それを示されます。地上で父親の私たちは、子どもたちに良い贈り物をする方法が分かっている。

**「あなたがたの中で、子どもが魚を求めているのに、魚の代わりに蛇を与えるような父親がいるでしょうか。」(ルカ 11 : 11)**

あなたが(蛇を)与えるなら、、、ね？「誰がそうしますか？」主の基本的な問いかけです。

**「あなたがたのうちのだれが、自分の子がパンを求めているのに石を与えるでしょうか。」(マタイ 7 : 9)**

これだ！よく噛め、坊主。— (笑) — やり過ぎなのはわかります。でも皆さん、理解できますね。いいえ、地上の親として、子どもたちに良い贈り物の仕方がわかるなら、天の御父はどれほどでしょう。神はあなたに聖霊を与えられます。もしもあなたが求めるなら。あなたが求めれば何でも。ただわたしに求めなさい。「私の叫ぶ声を耳に留めてください。」(詩篇 5 : 2 前半)

わたしはあなたの祈りを聞きます。わたしはあなたの祈りに答えます。わたしはすべての祈りを聞きます。墮落した親として、私たちのどれほどが子どもの叫ぶ声を耳に留めないですか？ 新生児の頃を思い出します。つまり、私の子どもが泣くと、私の内側の全てが、

「どうしたんだ?? 何がほしいんだ??」理由がわからない、、、一度話したか。これを話したと思います。子どもが泣き続けていて、OK。話しましょう。私たちは睡眠が必要で、3ヶ月くらい寝ていませんからそのまま寝ようとしています。おお、約1分、、、40秒が過ぎた頃、私は彼を抱き上げて、「おお! どうしたの? 何がほしいの? 何がほしいの?」「さあ! おっばいあげて。赤ちゃんはおっばいがほしいんだ!」— (笑) — OK。言い過ぎでした。これで話の行き先があります。ご忍耐ください。また眺めの良いルートで行きます。私たちが泣くとき、天の御父はどれほどでしょう? 他人の子どもとなると話は別です。「黙らせろ!」— (笑) — しかし、自分の子どもだと、、、正直過ぎます? しかし、自分の子どもだと? 彼らが泣き出したら、すぐ対応します。ここで明らかに何かがひどく間違っていて、泣いているのは、何かをほしいから。全力で取り組みます。私は墮落した親ですよ。私は地上の父親です。天の御父はどれほどでしょう? 実は、第一礼拝の後、ある人とこれについて話しました。しつこいやもめのたとえは、すべてのたとえの中で私が最も好きなたとえの一つです。実際、とてもユニークなたとえ

で、このたとえ話は、イエスが教える前に説明される唯一のたとえ話だからです。私たちは「しつこいやもめのたとえ」と愛称します。イエスは、諦めずに祈る事について、たとえ話をされました。このやもめは、不正な裁判官に自分の訴訟を申し立てました。彼女は毎日、一日中、裁判官にうるさく訴え続けました。メール、メッセージ、電話、訪問、裁判官の住居と住所を調べ、メモを車に置く。つまり、彼女は正義を要求し、裁判官を放っておきませんでした。この不公平で不正な裁判官は、、、神は不公平で不正ではられません。それがこのたとえ話のポイントです。ついに裁判官は心の中で考えました。

**「このやもめは、うるさくて仕方がないから、彼女のために裁判をしてやることにしよう。」(ルカ18:5前半)**

裁判官はそうします。やもめが訴えを止めないからです。扉を叩き、留守電のメッセージも入れ、すべてそれらを裁判官は聞きました。やもめは訴え続けました。ここにポイントがあります。不正な裁判官が、墮落した父、母のように、そうするなら、正しく裁かれるお方は、どれほどでしょうか。あなたが求めたものを神は与えられないでしょうか？ もしも、あなたが求めさえしたら。私たちが求めるのは何でも、主はそれを聞かれます。「ヨハネの福音書15章7節」の記述を聞いてください。イエスが話しておられます。

**ー ヨハネ 15:7 ー**

(もしも) **あなたがたがわたしにとどまり、わたしのことばがあなたがたにとどまっているなら、...** 言いますよ。

**...何でも欲しいものを求めなさい。そうすれば、それはかなえられます。**

待って。待って。待って。待って。「何でも欲しいものを求めなさい。」だって？「本当ですか？」「はい。」しかし、ここで「資格/限定されている概念」、その前提条件は、

**「わたしにとどまりなさい。わたしもあなたがたの中にとどまります。」(ヨハネ15:4前半)**

「わたしのうちに生きなさい。わたしもあなたのうちに生きます。わたしにとどまりなさい。」これには、枝はぶどうの木であるという考えが含まれます。あなたはすでにぶどうの木のうちにあって、それが源です。あなたはすでにぶどうの木と一致します。(韻を踏んでいるみたいですね。)**「あなたがわたしのうちにいるなら、わたしはあなたのうちにいます。あなたがわたしのうちにとどまるなら、わたしはあなたのうちにとどまります。わたしたちはすでに1つです。あなたが欲しいものは何でもわたしに求めなさい。もしもあなたがたがわたしのうちにとどまるなら、わたしはあなたがたのうちにとどまり、わたしの言葉はあなたがたのうちにとどまります。」**

言い換えれば、「あなたがわたしの言葉、御心に従って、わたしにとどまるなら、あなたが望むものは何でも、あなたがほしいと求めるものは何でも、わたしはあなたに与えます。」

「私に与えてくださるのですか？」「はい。御心にしがたって、わたしはあなたに与えます。」

それが4つ目で、ヨハネが15節の後半で取り組みます。:「私たちは、神に求めたものを神から与えられるのを知っている。」事実、これが私がこのタイトルをつけた理由、今日の教えのタイトル:「なぜ祈りが人生を変えるのか。」とつけた理由のひとつです。

説明します。もしも私が神へ近づくのに確信/自信を持つなら/持つ時、神の御心に従って、どんなことでも求めるなら、求める時、それが何であれ、どんなことでも、神から、私が求めたことを与えられるとわかります。それが神が仰ったことですね？ はっきりさせましょう。再度、皆さんそんな目で私を見るからです。望むものは何でも求められます。主の御心にしがたって、求めさえすれば何でも手に入れられ



ます。ここまでいいですか？ 何が私たちの問題なのか？

「牧師さん、あなたはどうですか？ あなたの問題は何ですか？」私の問題かもしれません。私はこれを知っているからです。でも、これを活用しません。ですから、私は確信/自信を持って大胆に御座に近づきません。私は求めません。私は信じません。結局、私が神に求めたことを、神が本当になさるとは思えません。神は私が求めたものを与えられないでしょう。と。神が与えられない理由は？ それは神の御心ですか？ はい。私は御心にしがたって、求めています。それなら、あなたはそれを手に入れるでしょう。さて、これはその人の自由意志を侵害しません。

もちろん、神の御心は、誰も滅びることなく、すべての人がイエス・キリストの救いの知識に辿り着くことです。(ヨハネ 3:16 参照)

誰かの救いのために祈るとき、神の御心にしがっているとわかります。しかし、神は彼らの自由意志を侵害されません。わかっていただけたと願います。しかし、それが神の御心なら、神は私にそれを与えられるでしょう。それが御言葉と御心にしがたうなら、私は求めるものを何でも手に入れます。ですから、再度、私は尋ねます。何が問題ですか？ 何が問題か話します。主は私に与えられますが、それは私が望む方法ではありません。私が主に与えていただきたいと思う色ではありません。確かに私が主に与えていただきたい時間枠内ではないでしょう。私はある人の言い方が好きです。時に、あなたが間違っていれば、神は仰います。「Grow/成長しなさい。」時に、あなたの祈りが間違っていれば、神は仰います。

「No/ダメです。」時に、あなたのタイミングが間違っていれば、神は仰います。「Slow/焦らないでゆっくり。」しかし、あなたが正しく、リクエストが正しく、タイミングが正しければ、神は仰います。「Go/さあどうぞ。」ちょっと気が利いてますね？ 私が言い出したんじゃないありません。だから気が利いているんです。言い換えれば、神は神の御方法で、神の時に、神のご栄光のために、それをあなたに与えられます。ところで、あなたもそう神に望みます。あなたが望む方法、望む時、望む仕方で与えられることは、あなたは望んでいません。神のタイミングは常に完璧だからです。「イザヤ書30章18節」について考えます。イザヤがこう書きます。

「主は、あなたがたに恵みを与えようとして待ち...」

あなたの祈り、あなたの祈った方法や祈った時に神が答えられなかったことで神に感謝した祈りはいくつありますか？ つまり、祈りのリストを持つ人たちで、祈りのリストを読み返すと、私のようにゾッとしますか？ 私はうろたえます。おお、それを祈ったなんて信じられない。神よ、本当に感謝します。私が祈ったとおりにその祈りに答えられなかったことを。私が祈った方法で、祈った時に、あなたがその祈りに答えられていたら、大惨事だったでしょう。神は、「わかっています。それがわたしが答えなかった理由です。」神は私にそれを与えられると私は分かります。「ヨハネの福音書14章」13節から14節を分かち合いたいと思います。理由は、再度、イエスが語っておられ、主が仰ることに注目してほしいからです。ここで再度「資格/限定されている概念」という言葉を使います。

主は仰います。「**あなたが求めるものは何でも**」(ヨハネ14:13)

再度、3つの単語です。「あなたが/求めるものは/何でも」

**わたしの名によって求めることは何でも...**(ヨハネ14:13)

わたしの本質に従って、名前は本質だからです。

**...それをしてあげます。父が子によって栄光をお受けになるためです。**(ヨハネ14:13)

(もしも) **あなたがたが、わたしの名によって何かをわたしに求めるなら、わたしがそれをしてあげま**

す。(ヨハネ 14 : 14)

さて、ここで「資格/限定されている概念」です。それが神に栄光をもたらし、私の益となれば、決まりです。神はそれをなさいます。

「わたしがそれをしてあげます。」(ヨハネ 14 : 14 後半)

何をなさるのですか?

「わたしの名によって求めることは、何でも」(ヨハネ 14 : 13)

それが御父に栄光をもたらし、わたしの名によって、わたしの御心にしたがうなら、あなたが求めることは何でも、わたしがそれをしてあげます。アレキサンダー大王について語られた大変興味深い話で締めくくります。そうする中で、この質問をよく考えてほしいのです。それは挑発的な質問のひとつです。

OK。準備はいいですか？ 今、現在、あなたの人生で、神に求めなかったり、求めるには大きすぎると考え、「突拍子もない」の方が良いかも）手にしていないものは何ですか？ 言いたいのは、私の質問は完全に失敗でした。これが私がメモを使う理由です。こう試してみます。今、あなたの人生でどんな状況が変わるでしょうか？ あなたがこれまで考えたり、想像したこともない桁外れの、非常に、豊かな、まして神に願う勇氣さえなかった何ものにもまさることを、神がしてくださると信じるなら。

「おお、神にそれを求めません。神がなさるとは思えません。」神が仰るのが目に浮かびます。「わたしに願い求めてみなさい。待って。待って。それは桁外れだから、わたしに求めないのですか？ ただ願い求めて、見てみなさい。願い求めて、見てみなさい。ただわたしに願い求めてみなさい。」

「おお、しかし、これは、これは本当に大き過ぎて、おお、あなたはされないでしょうから。」「わたしには何でも可能です。」

主にとって、不可能なことがありますか？ (創世記 18 : 14)

「いいえ、しかし、これはちょっと、ちょっと、桁外れですから。」「まあ、わたしは桁外れな神です。」

「はい、でもこれは大きな要求ですから。」「わかっています。しかし、わたしは大きな神です。わたしに願い求めてみなさい。あなたが求めるものは何でも。それがわたしの御心にしたがうなら、あなたはこれを確信できます。それが御父に栄光をもたらすなら、わたしに願い求めてみなさい。わたしがしないかどうかを見なさい。」では、この話。

「アレキサンダー大王は、当時の世界全体を征服したことで知られている。あまり知られていないことは、彼が国民に対して思いやりがあったことだ。彼は1年に1日、「思いやり/慈悲の日」を設け、王国中の人々を手当たり次第に選び、人々が王に特別な要求をすることを許可し、それが何であれ、王はそれを聞き入れた。あなたが求めることは何でも。興味深いのは、たいいてい人は食べ物や衣服、お金、薬などを求めるだけだった。ある年、ある農夫が、大きな宴会場のある大きな宮殿を与えてほしいと求めた。友人全員にたくさんの食事でもてなせるからだ。その日、出席者全員が驚いたのは、アレキサンダー大王が彼の要求を受け入れたこと。王の部下が、なぜこの農夫の贅沢な要求を許すのかと尋ねると、アレキサンダー大王は彼らに言った。「民衆が求めるのはありふれたものばかりで、誰にでも与えられるようなものばかりだ。そんなものを与えるのは、王でなくてもできる。余分な物を持っていれば、誰でもできる。しかし、王は、この男は初めて、私を王だと感じさせてくれたのだ。そのような願いを叶えられるのは王だけだ。」わお！すでに頭が下がる思い/脱帽です。「神よ、私はそれを手にすることができていたのですか？」はい。OK。最後の最後です。それから締めくくります。私は大変疲れていますからね。私が疲れているなら、皆さんは本当に疲れているはずですよ。ある牧師の話を思い出します。実話です。彼は一日

の終わりに妻につらく当たりました。その日、ゲスト・スピーカー兼牧師、訪問牧師として6回目の講演を終え、ホテルの部屋に戻るため移動中でした。彼の妻が何かを言い、彼は妻につらく当たりました。妻が彼を見て言ったことは、「なぜ私につらく当たるの？ あなたはあそこで仕事を終えたばかりね。すごく神聖な...バターが口から溶け出しそうだったわ。みんなが、あなたがこんなふうに私につらく当たるのを知ったら...因みに、私は妻のことを話していませんからね。言っておきます。...牧師さん、皆が今のあなたをどう思うかしらね。」

彼は、おお！彼は言います。「おお、やれやれ、申し訳ない。ハニー。今日は6回も説教して、大変疲れていて、それで、ちょっと、その、カッとなってしまったんだ。ごめんなさい。」彼女が言います。「あのね、今日は6回も説教したわね。でも、今日 私は、6回もあなたの話を聞かねばならなかったのよ。私が楽しくなれるなら、あなたも楽しくなれるはずだわ。」—（笑）— OK。追加料金なしです。私のユーモアをご理解いただきたいです。誰もがそうとは限らないから。でも、構いません。ユーモアもいいですね？ ちなみに、笑いは薬です。それはたとえであって、実話ではないのは明らかです。でも、自分を使います。チームのために犠牲になりましょう。私は無私無欲の、敬虔な牧師ですから。ですから、私は今から祈り、御座に近づきます。私は神に求めます。ですから、神は準備万端であります。天の静けさ。

「みんな、シーツ。JDは祈る準備をしている。ガブリエル、ミカエル、ここに来なさい。準備しよう。彼が求めるものは何でも。彼が求めるものは何でも！」「何でも？」「そう、何でも。準備しなさい。シーツ。さあ、来るぞ。」私がさあ、今から祈ります。「主よ、この食事を祝福してください。」

「OK、気にしないで。誤報だ。何でもなかった。もう戻りなさい。また食事の祈りだ。インターンを派遣して、面倒見させればいい。」—（笑）—

「彼は、わたしにこう頼むと思った。カメハメハ・ハイウェイ沿いの3.1 エーカーの土地を下さい。」

「おお、よしてください。あなたは、あなたは、、、無理ですよ。」「わたしに願い求めてみなさい。」「あの～、主よ、私たちは厄介になりすぎたようで、自分たちの場所を見つけなさいと言われてましたが、場所が見つかりません。私たちは場所が必要です。あなたの教会です。実際、神よ、あなたの問題です。あなたは建物がが必要です。」

私はそれは言いませんでした。言いませんでした。でも、それが確信/自信ですね？ それが聖なる大胆さですね？ 私たちが、、、私はこの物件を追いかけていました。その話には触れませんが、しかし、私はただ求めただけです。「神よ、あなたは何でもおできになります。ですから、この物件を私たちに与えてくださいますか？」

それは始まりに過ぎませんでした。理由は、「おお、神よ！ すべてを取り壊さねばなりません。すべてを取り替えねばなりません。」ところで、皆さんは新しいコンクリートの上に座っています。これを言うのはためらいます。その下には空洞があったからです。コンクリートも、入れなかったら 列はこのように曲がっていたでしょう。とにかく、皆さん大丈夫です。大丈夫。全て新しいから。電気も配管も何もかも新しい。「おお、神よ、私をこんな目に遭わせたのはあなたです。今、必要なのは、、、」

ただ神を信じるしかありませんでした。想像してください。私たちは神を信頼し、神に求めねばなりません。大金が必要だったからです。神は、「わたしは大きな神だから、わたしに願い求めてみなさい。」

主は与えてくださり、私たちには、何一つ足りないものはありませんでした。ただ神に求めただけ。

あなたが求めるものは何でも。一拍手喝采— はい。主を褒め称えましょう。

これはどうです？ これが私の望む締めくくり方です。私はあなたと一緒にします。今、抱えている問題

があるからです。私は主のみもとに行く必要があります。必要なときに、確信/自信をもって恵みの御座に近づき、助けを求めます。しかし、一緒にしませんか？ 私たちは神に、途方もないことを願います。実際、あなたの人生で、途方もないことが何であろうと、どう見えようと、途方もないこと以上に、さらに途方もないことにしませんか？ 途方もなく途方もないこと。正しい言い方ではないかもしれませんが、言いたいことはわかりますね？ 言い換えれば、実際には、あなたのためです。あなたが恵みの御座に行き、神にそれを求める前に私もしましょう。家賃でも食料品でも何でも、誰でも助けてくれます。しかし、神だけがそれをおできになる。又は、神は神であられることを望んでおられるのかもしれませんが。実際、それをなさるのは、神だけがそれをおできになるからです。それをされたのは神に違いない。ところで、皆さんは「神にしかおできにならない」建物に座っています。わかりますね？ 私は人々がこう言うのが好きです。「どうやったの？」私はただ、私たちはしていません。神がなさいました。

「どうやって手に入れたの？」私たちではありません。「どうやって買ったの？」神が与えてくださいました。私たちではありません。「どうやってそんなに早くできたの？」 8ヶ月です。奇跡です。ネヘミヤの奇跡です。私たちはしていません。神がなさいました。私たちはただ主を信頼しました。「でも、これは桁外れです。」分かっています。神は桁外れの神です。壮大でとてつもないこと。主は惜しみなくなさりたいのでは？ ペテロは言います。主は私たちに惜しみなくされたいと。私たちの子どもたちと同じように。私たちは人々に惜しみなく、気前よく、人々を祝福し、人々が求めるものは何でも与えたいです。それが良いなら、なぜそうしませんか？ なぜ私たちがそれを差し控えねばならないのですか？ ですから、再度、今度こそ間違いなく締めくくりです。あなたが御座に近づく前に「わたしはあなたに桁外れの豊かさを手にしてほしいのです。もっと溢れる豊かさを。」そして、主の恵みの御座に近づく。私のように、これらのどれかをしないでください。(恐れながら)「ああ、天のお父様、…」いいえ、大胆に、傲慢にではなく、大胆に、確信をもって、イエスの御名によって御座に行ってください。「神よ、これがあなたの御心なら、私はあなたにお願いしたいのです。私ができるのは、これはただ、、、誰にも可能にできません。あなたにしかおできになりません。あなたがなさってくださいますか？」神はこう答えられるのでは？「わたしを見ていなさい！ わたしを見ていなさい。わたしがこれからすることを見ていなさい。あなたはそれをわたしに持ってきなさい。」「はい、私は宮殿が欲しいです。巨大な宴会場。料理に大変重要です。これが欲しいです。」私が話しているのはこういう事じゃありません。🎵新車のメルセデスが欲しい🎵 そのことではなく、私が言っているのは、大きな神にしかおできにならない大きなことを、あなたの大きな神に信頼し、ただ神のみもとに持っていく。行き過ぎで突飛に見えるかもしれませんが。求め、御座に請願してください。主があなたのためにそうされないかどうか見てください。それが主に栄光をもたらすなら、主の御心にしがっているなら、あなたはそれを手にします。あなたはそれを手にします。

OK、これが最後の最後です。ごめんなさい。その道楽娘、放蕩息子のために神を信頼するのはいかがですか？「ああ、でも牧師さん、失礼ながら、彼らは遠く離れてしまいました。それには奇跡が必要です。」ふむ。私はたまたま、奇跡の神を知っています。「はい、でもあり得ません。」神だけがおできになります。あなたは求めましたか？ いいえ。では、願い求めてみてください。その結婚についてはいかがですか？ つまり、「それは.....ありえません。絶望的です。もう終わったことだし、仕方がない。」願い求めましたか？ 願い求めましたか？「いいえ、ダメです。」神に願い求めてみたらどうですか？ 神はあなたの結婚に奇跡を起こすことがおできになります。家庭においても、家族においても、経済においても。私の月々

の請求書を見たことがないでしょう？ 願い求めましたか？「いいえ。かなり大きな金額です。」その大きな金額は、あなたの神よりも大きいのですか？ その問題はあなたの神よりも大きいのですか？ その状況はあなたの神よりも大きいのですか？ 間違いなくそうではありません。主はすでに、あなたが主に近づき、何でも求めてもよいと言われました。なぜあなたはそうしないのですか？ 主はなさるかも。思うに、主は、なさっていたのでは？ しかし、なさらなかったのは、私が願い求めなかったからです。なぜ私は願い求めなかったのか？ あまりにも桁外れだったから。ここで神はこのように。「わたしはその準備ができていました。準備万端でした。ガブリエルとミカエルがいるのです。なんということでしょう。彼らは大天使ですよ。わたしは彼らを用意していました。わたしは準備していました。」おお、(もしも願い求めていたのなら) 神がなさっただろうことは何か？ もう十分に打ちひしがれたと思います。カポノ、上がってきてください。ご起立ください。祈りで締めくくります。

天のお父様、聖霊がここから引継ぎ、取り上げ、導いてくださいますように。主よ、私はただ、、私も含め、私たち全員が、この確信/自信を持つことに関して、今日、この教会に来たときとは違って、この教会を去ることを願います。あなたへの私たちの見方、祈りへのアプローチが変わったことを願います。今日ここを去るとき、私たちが今日ここに来たときとは違ってあなたを見ることを願います。ですから、主よ、私たちはそれぞれの帰路につきます。聖霊によって、私たちの人生にこれを適用するのを祝福ください。私たちは今日ここで聞いたことをします。これが私たちの人生のすべてを変える可能性があり、結婚生活、全てを変える可能性があり、人生のどんな状況をも変える可能性があるからです。あなたは変えられます。瞬時に変えてくださいます。主よ、私たちの祈りへのアプローチと見方で、祈りそのものを活用できますように。祈りについて、ヨハネを通してのあなたの御言葉のこの聖句に感謝します。イエスの御名によって、アーメン。

-----  
メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7